

E_ECO Vol.14

E everyday E everywhere いいエコで、いこう。

今回の取り組みを行っている団体

阪神電気鉄道株式会社

新型車両5700系の扉に施された、環境への配慮とは？

- ① お客様が操作できる扉開閉ボタン
- ② 窓部分が再生利用のペットボトル製

答 ① お客様が操作できる扉開閉ボタン：ドア横に扉開閉ボタンを設置し、特急・急行の通過待ちで停車する際の保温・保冷性の向上を図っています。

お客様とともに省エネ

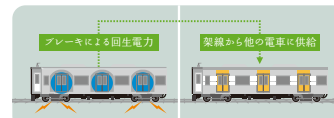
普通用車両は、特急や急行の通過待ちで長時間停車する機会が多いため、お客様にボタンで扉の開閉を行っていただくことで、車内の保温・保冷性が向上し、空調に関する省エネにもつながります。



最新の省エネ技術で、効率よく走行

高加速・高減速を繰り返しながら走る普通用車両は、多くの電気を使用します。そこで、5700系では最新の省エネ技術を採用。従来の普通用車両と比較して約60%の省エネを実現しています。

回生ブレーキ



ブレーキをかける時に発電し、その電気を架線に戻してほかの電車に使えるようにした「回生ブレーキ」システム

主電動機



最新の高効率のモーターと、走行状況に応じて電力を効率的に制御できるVVVFインバータ制御装置